

変化に的確に対応、大阪でCAL研究会



「変われ！CAL、変わるな！」。

オリエンテーションの後、LCL役員の生川正洋氏が基調講演。「物が売れない時代がやってきた。これから必要なのは、変化を的確に察知する判断力、変化に適切に対応する行動力だ。優秀店の真

けないものもある。それは信頼だ」と強調。

智頭石油会長の米井哲郎氏は、同社の事業承継とそれに伴う体制変更、このほど事業化した長期型レンタカーを説明。「長期型レンタカーはライトクラス、ハイクラスをラインアップしている。ライトクラスは稼働率が高く顧客の反応は良いが、利益が薄い。ハイクラスは告知不足もあり、まだ浸透していない。今後法人訪問などを行い実績につなげていきたい」と話した。

同専務の中本智昭氏と同社社員は同社の体制変更後の現状を説明。

有田石油社長の藪野睦士氏は、ことし4月にオープンした手洗い洗車・コーティング専門店「ALAN WASH」を紹介。「車をきれいにするだけではなく、感動を与え、お客さまの豊かな人生につなげることをコンセプトにした。集客はSNSが中心。施工したお客さまには喜ばれ、車両販売の粗利も上がった。今後法人営業や出張引き取り洗車、洗車用品・グッズ販売に力を入れたい」と意気込みを示す。

寺田商事社長の寺田好孝氏は、「チーム力を高める」「未来を切り拓く」をキーワードとして同社の経営方針を発表。「新たなビジネスモデルを作っても、いずれそれはすたれる。車販で言えば、地域に強力に根付き、人の良さだけではない人間力を持ち、売り方や扱い車種に特

徴を持たせることが大切」と強調。

26日は、山下石油社長の山下真司氏が車販売の二次物流と「CALマート」、目見田商事社長の目見田純也氏が人材育成プログラム「CALWORKS」、米井氏がこのほど発足した「運転免許証返納問題アドバイザー協会」について説明した。